

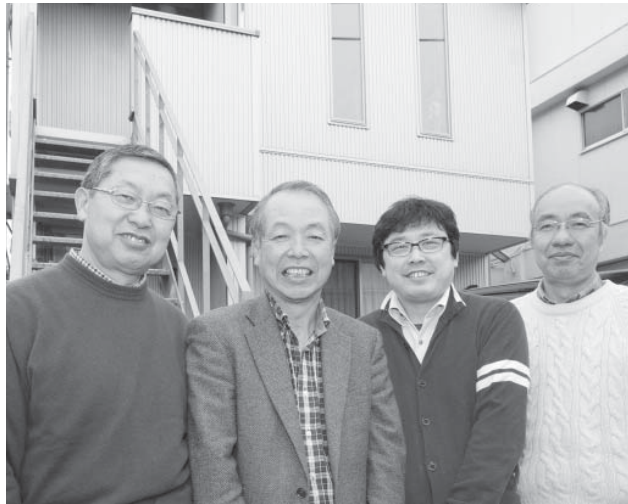
- 2面…保育付女性講座ほか主催事業、おやこdeさんぽ、保育室プレ体験
- 3面…谷戸まつり、田無カレッジ、今もっと知りたい「食」!、市民レビュー
- 4面…サークルから(催し物案内、会員募集)、公運審コラム、まちがいさがし

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
 田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
 保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

定年! わたしどうなるの?

緑町マリナー 横田忠夫さん



緑町マリナー前で仲間と一緒に
左から2人目が横田さん、3人目が角田さん

セカンドライフをスタートしたとき地域とどうつながるか、地域レビューの先輩であるNPO法人地域福祉計画研究所 緑町マリナー副理事長の横田忠夫さん(69)にうかがいました。

定年退職後もスケジュール帳がぎっしり埋まっている横田さんですが、退職後は「社会貢献したいのだけれど、さて、どうしよう」と思ったそうです。

「基本的にお節介」とご自身を分析する横田さんは、少年野球で約20年地域との関わりがありました。退職後「地域貢献できて自分も楽しめるもの」を求めて、市のボランティアセンターに出向きました。そこで紹介されたほうや福祉作業所に通い始め、障がいのある方との交

流が始まりました。それから1年後、現役時代の仕事で培った経理の知識を活かしたいと思い、NPO法人NPO人材開発機構に登録します。そして、家が近かった緑町マリナーに、月1回3か月間限定の経理指導者として派遣されました。

緑町マリナーは角田勇理事(すんだいさむ)長が35歳のとき一人で立ち上げた、定員6人の知的障がい者のグループホームですが、当時は入居者ゼロ、協力者ゼロ、地域とのつながりゼロ。問題の深刻さは到底3か月では解決できるものではありませんでした。若い人が立ち上げた事業を何とか成功させたい。できることは何でも協力しよう」と、横田さんの奮闘が始まります。

「少年野球に関わってきたのも楽しかった。だからまわりの人も地域の人と関わりをもって楽しんでほしい」と誰かに出会うたびに思うそうです。ほうや福祉作業所でのボランティアは今年で10年目。「横田さんだーいすき」という利用者の方の言葉がうれしくてやめられない」と顔をほころばせます。

春!新コーナースタート

今月号より、新しいコーナーが始まりました。公民館の保育室を利用しての親子にご登場いただく「おやこdeさんぽ」お薦めのCDをご紹介いただく「市民レビュー」、そして、市民のイラストでお届けする「まちがいさがし」。公民館で見かけるこの顔!近所のあの方?のご登場も。公民館だよりは今後とも皆さまにより親しまれる紙面を目指します。

わが街をもっと知りたくて

元気な町内会をたずねて

第3区町会

町内会という言葉あまり聞かなくなった昨今、保谷町・住吉町・泉町を活動拠点としている「第3区町会」副会長の野口勝次さんにお話をうかがいました。

会計、幹事、班長などを決めて、しっかりした組織により運営されており、特に若い方や転居されてくる方の入会を促すため、東奔西走し、色々な企画をたてています。

例えば納涼盆踊り大会、秋祭り・子供神輿巡行、歩け歩け運動などの楽しい企画や夜間防犯パトロール、緊急援助品の備蓄など安全に対処する活動なども行っています。

第3区町会は昭和23年旧保谷町上保谷の「西浦」「平松」「上宿」の集落を基に発足、以来現在約千200世帯を有する市内で一番大きな町内会組織です。町の安全・安心、楽しく住みよい町を目指し活動を続けています。

同会は会長を中心に副会長、子供神輿巡行には会員以外の



方々の参加もあり、大勢のお子さんや若い方たちにも大いに楽しんでもらっています。野口さんは「おかげさまで若い方たち

にも町内会の楽しさや大切さを伝えることもできます」と、満足そうに語ります。

西東京市内にも近所との関係が希薄な地域があります。防災の観点からも市民相互の助け合いが必要とされます。このような場合、やはり日頃から町内の絆を強くしていくことが大切になります。そのために町内会の活動を通して、より近所同士のお付き合いを深めていく必要があります。

今後地域にますます必要になる町内会をもっと活発にしているために、同会ではできるだけ多くの方の入会を待っています。(取材日2月6日)

担当者からの講座報告

文学講座 (1月11日~2月15日全5回) ひばりが丘公民館



戯曲とは演劇の台本のことで、20代~70代の受講者の多くが戯曲を書くことは初めてでしたが、ほとんどの方がオリジナル短編戯曲を完成。「他人の視点っておもしろい」「人物への理解や、自分は今何を大切なこととして考えているかが問われている」と感じたなどの感想がありました。最終日にはそれぞれの戯曲をゲスト俳優が読み、書かれた言葉が生きた声として立ち上がる瞬間を共有しました。

◆受講者の作品集はひばりが丘公民館にて閲覧できます